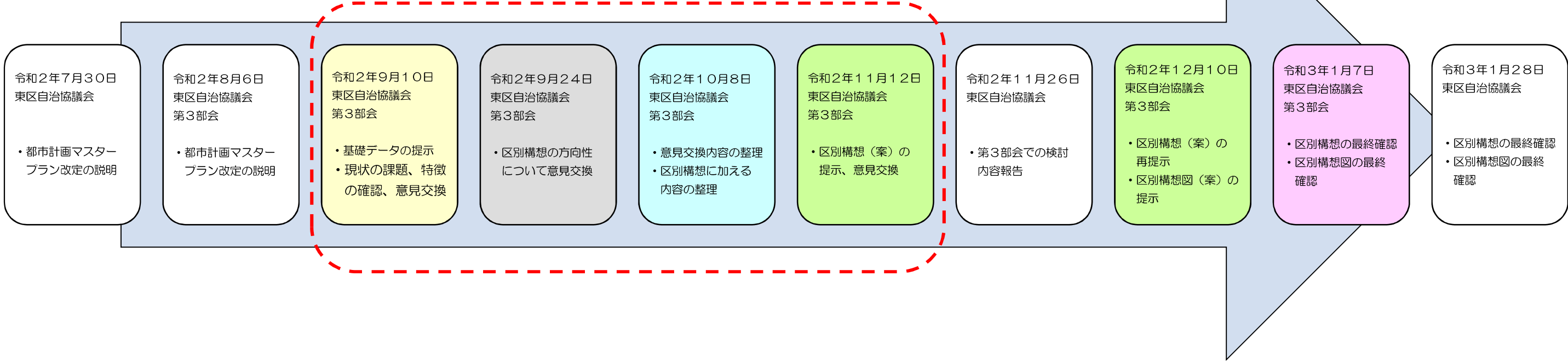
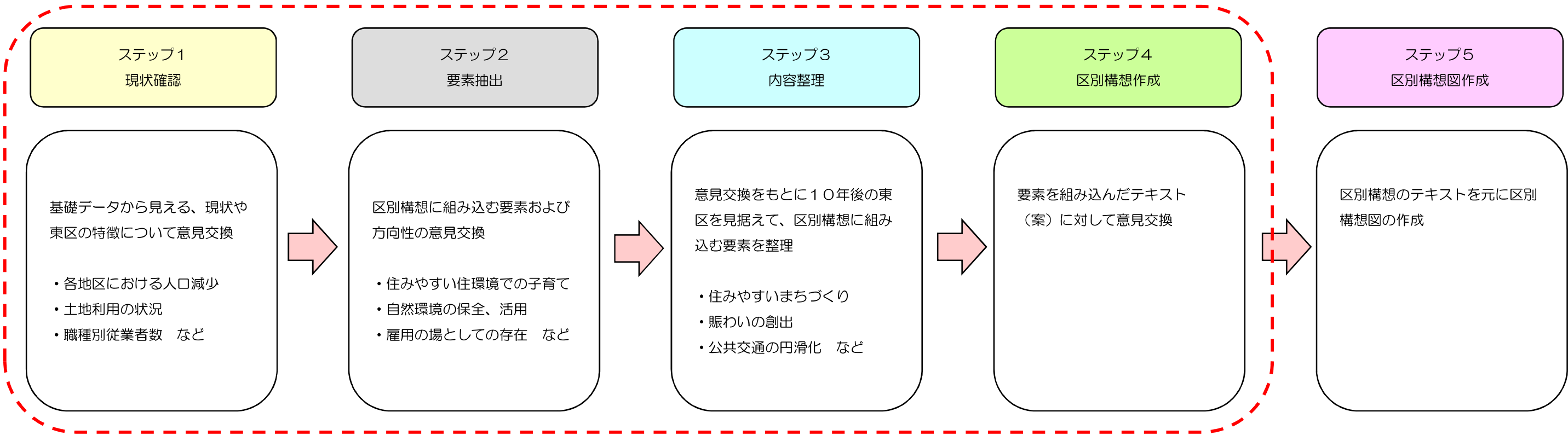


都市計画マスタープラン改定に伴う区別構想策定プロセス

【作業スケジュール】



【作業プロセス】



現在の区別構想（平成20年度策定）

東 区

● 東区の区づくりの方向性

- ①山の下・河渡地区、木戸・大形地区、石山地区の各生活圏を生活拠点と位置づけ、身近な生活の利便性を高めるとともに、市街地内の遊休地の有効利用を促進します。
- ②新潟空港及び新潟西港は、物流と交流の広域交通拠点として機能の充実を図ります。
- ③広域幹線道路網の整備とともに、区内における南北の連携強化を目指した道路の整備に取り組みます。
- ④通船川・阿賀野川などの河川は貴重な水辺空間として保全を基本に機能の強化を図り、区民の憩いの場として活用します。
- ⑤区の東南部に広がる農地や農村集落は、市街地をやさしく包む田園として守り活用し、豊かな自然と都市機能の利便性を兼ね備えたまちづくりを目指します。



新潟空港



じゅんさい池公園



じゅんさい池公園のしだれ桜とかがり火

図 東区構想図



凡 例	
	市街地
	集落
	農地
	生活拠点
	機能別拠点
	緑地・公園
	河川・水面
	鉄道
	環状道路網
	放射道路網
	区の骨格道路

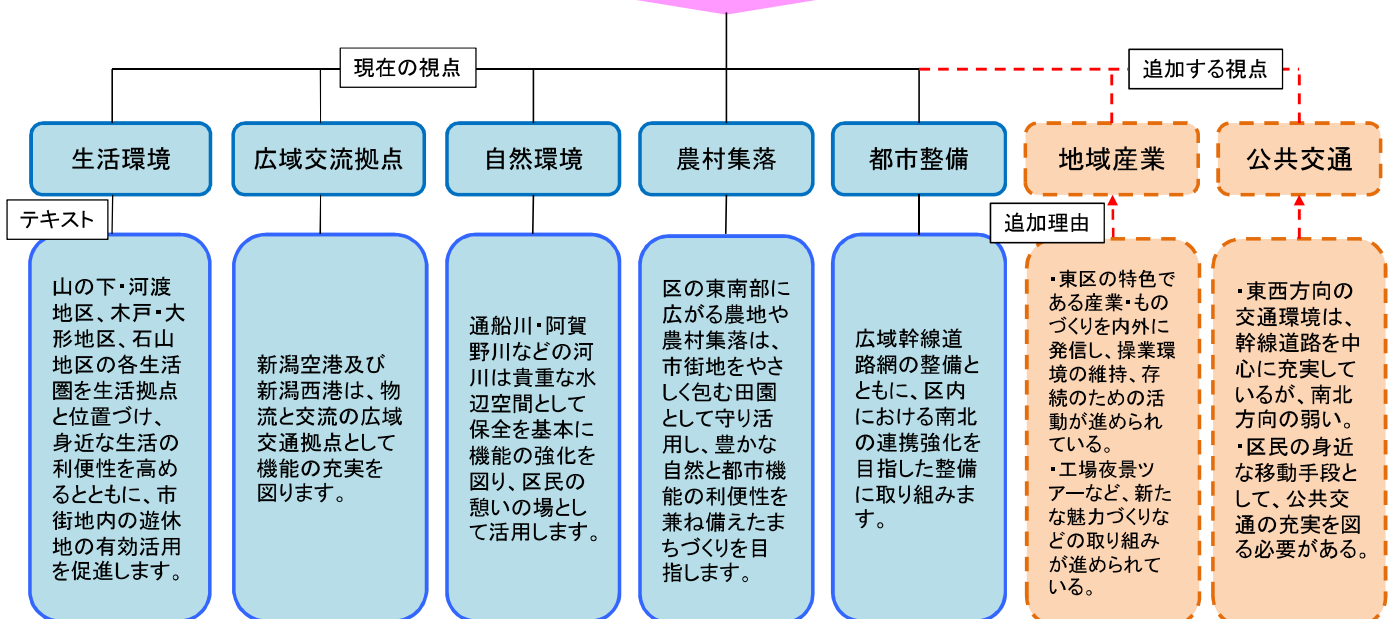
新潟市都市計画マスタープラン 「区別構想」の策定について

区別構想図 東区 (旧)



区別構想図 東区

《東区の将来像》 一区ビジョン基本方針より
 ~暮らしと産業の調和を活かした、世界と共生するまち~



区別構想図 東区 生活環境

現在の区別構想

山の下・河渡地区、木戸・大形地区、石山地区の各生活圏を生活拠点と位置づけ、身近な生活の利便性を高めるとともに、市街地内の遊休地の有効活用を促進します。

区別構想に加えるべき要素

- ・新たな世代が住みやすい環境整備
- ・市街地の空地、空き家の活用
- ・生活拠点の魅力創出
- ・子育て環境の充実
- ・生活圏の利便性、拠点性

主語	手段	目的
<ul style="list-style-type: none"> ・3地区(山の下、木戸、石山) ・生活エリア ・生活圏 ・生活拠点(住宅が連なる生活エリア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境整備 ・公共交通の充実 ・空き家・空地の活用 ・宅地開発 ・安全対策の実施 ・ニーズに合わせたまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・空地・空地への誘導 ・生活の利便性を高める ・生活拠点の魅力創出 ・住みやすい環境づくり ・生活拠点の活性化 ・循環・持続可能なまち

区別構想テキスト【案】

生活拠点(住宅が連なる生活エリア)では、子育て環境や安心・安全、地域のニーズに合わせたまちづくりを進め、多様な世代が住みやすいまちを目指します。
(また、生活拠点内に残された調整区域(未利用地)については、生活環境の循環、持続可能なまちづくりに資する活用を進めます。)

5

区別構想図 東区 広域交流拠点

現在の区別構想

新潟空港及び新潟西港は、物流と交流の広域交通拠点として機能の充実を図ります。

区別構想に加えるべき要素

- ・交流拠点としての賑わいの創出

主語	手段	目的
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟空港及び新潟西港 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流拠点の活用 ・物流拠点の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいの創出 ・地域産業の発展 ・国際交流

区別構想テキスト【案】

物流と交流の広域交通拠点としての新潟空港及び新潟西港周辺では、拠点性を活かした連携により、地域産業の発展と賑わいの創出を目指します。
※広域交通拠点の機能強化については、全体構想の中に位置づける。

6

区別構想図 東区 自然環境

現在の区別構想

通船川・阿賀野川などの河川は貴重な水辺空間として保全を基本に機能の強化を図り、区民の憩いの場として活用します。

区別構想に加えるべき要素

- ・水辺空間の保全
- ・水辺空間の賑わい、活性化

主語	手段	目的
<ul style="list-style-type: none"> ・通船川・阿賀野川(河川) ・じゅんさい池(砂丘湖) ・栗ノ木川 	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺空間として保全 ・自然環境とのふれあい 	<ul style="list-style-type: none"> ・憩いの場として活用 ・賑わいの創出 ・水辺空間として保全 ・交流の場として活用 ・環境学習の場として活用

区別構想テキスト【案】

阿賀野川や通船川などの水辺空間は、(自然とふれあえる環境として保全し、)市民が集い、憩う、賑わいの場としての活用を図ります。また、市街地に残る貴重な砂丘湖のじゅんさい池は、地域の宝として保全、活用していきます。

7

区別構想図 東区 農村集落

現在の区別構想

区の東南部に広がる農地や農村集落は、市街地をやさしく包む田園として守り活用し、豊かな自然と都市機能の利便性を兼ね備えたまちづくりを目指します。

区別構想に加えるべき要素

- ・農村集落の維持
- ・豊かな農地の保全

主語	手段	目的
<ul style="list-style-type: none"> ・東南部に広がる農地・農村集落 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 ・地域づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・田園の維持 ・農村集落の維持

区別構想テキスト【案】

- ・区の東南部に広がる農地は、市街地をやさしく包む田園として守り活用します。
- ・区の東南部に広がる農村集落は、担い手の育成や確保のための生活環境づくり(地域づくり)を進め、農村集落の維持を目指します。

8

区別構想図 東区 都市整備

現在の区別構想

広域幹線道路網の整備とともに、区内における南北の連携強化を目指した整備に取り組みます。

区別構想に加えるべき要素

主語	手段	目的
・広域幹線道路網 ・幹線道路	・安全対策	・円滑化

区別構想テキスト【案】

※幹線道路整備自体を目標と捉えず、公共交通・交通環境と併せて整理。

9

区別構想図 東区 地域産業

現在の区別構想

記載なし

区別構想に加えるべき要素

・事業環境の保全 ・雇用確保、雇用創出 ・生活エリアとのつながり

主語	手段	目的
・山木戸・榎地区、卸団地地区、 木工団地地域 ・産業拠点地域	・生活圏とのすみ分け ・地区計画などの制度活用 ・特性を強化する	・雇用の場として守る ・地域産業を育てる

区別構想テキスト【案】

山木戸・榎地区、卸団地地区、木工団地地区などの産業集積エリアでは、産業の場としての特性を強化することで、産業・ものづくりを発信する場、雇用の場として守り、まちの持続的な発展につなげます。

10

区別構想図 東区 公共交通・その他

現在の区別構想

記載なし

区別構想に加えるべき要素

- ・公共交通の南北強化
- ・産業と生活の結びつき
- ・東区ならではの目玉
- ・生活、工業地域を結ぶ公共交通の利便性向上
- ・生活エリアと産業エリアのすみ分け

主語	手段	目的
<ul style="list-style-type: none"> ・区バス ・公共交通 ・JR駅(越後石山、東新潟、大形) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点の機能強化 ・エリアごとの結び付き ・幹線道路軸の活用 ・交通安全対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用環境の向上 ・持続的な利用 ・快適性の向上 ・身近な移動手段の充実

区別構想テキスト【案】

・幹線道路を軸とした道路交通環境の円滑化と安全対策を進めます。また、JR駅などの交通結節点においては、機能強化を図ります。(相互に重なる生活エリアと産業エリアを結ぶ、身近な移動手段の充実を図ります。)

11

区別構想図 東区 公共交通・その他

現在の区別構想

記載なし

区別構想に加えるべき要素

- ・公共交通の南北強化
- ・産業と生活の結びつき
- ・東区ならではの目玉
- ・生活、工業地域を結ぶ公共交通の利便性向上
- ・生活エリアと産業エリアのすみ分け

主語	手段	目的
<ul style="list-style-type: none"> ・まんなか拠点 ・区役所周辺 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の有効活用 ・災害拠点機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいと交流の拠点づくり ・災害に強いまちづくり

区別構想テキスト【案】

・区役所周辺は行政機能のほか、福祉・文化施設が充実する、人々が交わる「区のまんなか」として、賑わいと交流の拠点となるまちづくりを進めます。

12